

TOPPANホールディングス、大阪・関西万博シグネチャーパビリオン
「いのちめぐる冒険」と「Better Co-Being」のバーチャルパビリオンを構築
TOPPANホールディングスが協賛する両パビリオンのバーチャル空間が「空飛ぶ夢洲」に登場

TOPPANホールディングス株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長 CEO:磨 秀晴、以下TOPPANホールディングス)は、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)のテーマ事業「シグネチャーパビリオン」(※1)の中で、河森正治プロデューサーによる「いのちめぐる冒険」(※2)パビリオン(テーマ「いのちを育む」)と、宮田裕章プロデューサーによる「Better Co-Being」(※3)パビリオン(テーマ「いのちを響き合わせる」)に協賛しています。

TOPPANグループは協賛する2つのパビリオンについて、大阪・関西万博の「EXPO 2025 バーチャル万博～空飛ぶ夢洲～」(※4)内に構築されるバーチャルパビリオンを制作しました。「バーチャル万博」はスマホ・タブレット・PC・VRゴーグルから無料で入場することができます。



バーチャルパビリオン「いのちめぐる冒険 in Virtual」の1シーン(左)

バーチャルパビリオン「Better Co-Being」の「Galaxy」(右)

■ バーチャルパビリオン「いのちめぐる冒険 in Virtual」について

様々な“いのち”やその関係性をバーチャルで体験し、「今、ここに共に生きる奇跡」を直観する

・河森正治プロデューサーデザインの「いのち球」(※5)がバーチャルにも登場



河森氏が生物多様性を合体・変形させた象徴として描いたオリジナルオブジェクト「いのち球」。実際のパビリオンでは高さ3.5メートルのモニュメントとして設置される「いのち球」が、バーチャル空間内では70メートルのスケールで登場。来場者は様々な生き物に変化しながら、多様な“いのち”でできた巨大な「いのち球」の周りをめぐり、頂上から球の内側へダイブ。リアルな「いのち球」では表現されていない、誰も見たことがない内側の世界に飛び込むバーチャルならではの表現で、いのちめぐる冒険を楽しむことができます。

・いのち球の奥深くへー未知なる世界を探検



冒険は、「いのち球」の内側へと続きます。頂上からのスカイダイビングを体験しながら、球の内部に広がる多様な“いのち”と出会うことができます。最後には大地へと降り立ち、地中に広がる菌糸の世界へと足を踏み入れます。

・シグネチャーパビリオン「いのちめぐる冒険」について

テーマ事業名：「いのちを育む」

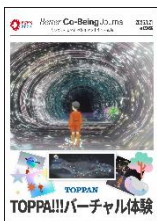
テーマ事業プロデューサー：河森 正治（アニメーション監督、メカニックデザイナー、ビジョンクリエイター）

TOPPAN ホールディングスは「ゴールドパートナー」として協賛し、パビリオンで展示される「宇宙の窓」の4メートル超の巨大LEDビジョンとそこに映し出される一部の映像を提供しています。また、「いのちめぐる冒険」バーチャルパビリオンの制作も行っています。

■ 「Better Co-Being」バーチャルパビリオンについて

Web3 技術を活用し、多様な来場者の「新しい思い出の残し方」を提案

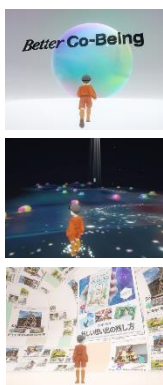
・来場者の想いをつなぐ「Journal」を提供



本パビリオンでは新しい思い出の残し方を実現するため、来場者が会場で撮影した写真を専用サイトにアップロードし、スタンプやテキストをコラージュした「Journal」として自ら作成することができます。また作成した「Journal」は、バーチャル空間「Gallery」での展示に応募することができます。この画像に SBT（※6）を付与することで、自分だけのオリジナルデータとして思い出を残すことができます。

「Better Co-Being Journal サイト（4月3日公開）」<https://better-co-being-journal.jp/>

・「Gate」「Galaxy」「Gallery」でバーチャル空間を構築



「Gate」は、「Better Co-Being」の象徴で、多様ないのちの響き合いがもたらす、輝く未来社会を表現した「ダイバースフィア」が浮かぶエントランスです。「Galaxy」では宮田プロデューサーやパビリオンの全協賛社らが想いを込めた「Journal」を、「Gallery」では来場者が応募した「Journal」の中からピックアップ作品を展示し、共鳴の空間を構築します。

上から「Gate」「Galaxy」「Gallery」

・「EXPO 2025 デジタルウォレット」連携でポイントやグッズをプレゼント



「Better Co-Being」は大阪・関西万博の「EXPO 2025 デジタルウォレット」と連携しています。「Journal」を作成し、SBT を付与することで「ミyakミyakリワードプログラム」（※7）の30,000exp を獲得できます。さらに、バーチャルパビリオンの「Journal」展示に応募すると、抽選で10名（予定）にグッズをプレゼントします。（応募は2025年4月3日（木）～6月13日（火）まで）

SBT 発行画面（イメージ）

・シグネチャーパビリオン名「Better Co-Being」について

テーマ事業名:「いのちを響き合わせる」

テーマ事業プロデューサー:宮田 裕章(慶應義塾大学医学部教授)

TOPPAN ホールディングスは「ブロンズパートナー」として協賛し、バーチャルパビリオン内で Web3 技術を活用した新しい思い出の残し方「Better Co-Being Journal」を提供しています。また、「Better Co-Being」バーチャルパビリオンの制作も行っています。

■ TOPPAN ホールディングスの大阪・関西万博協賛について

TOPPAN ホールディングスは、大阪・関西万博において、未来社会ショーケース事業「デジタル万博・自動翻訳システム」のほか、テーマ事業「シグネチャーパビリオン」のうち、プロデューサー河森 正治氏(テーマ「いのちを育む」)、宮田 裕章氏(テーマ「いのちを響き合わせる」)が担当するパビリオンに協賛、さらに未来社会ショーケース事業「フューチャーライフ万博・フューチャーライフエクスペリエンス」の常設展示『「生命の誕生」と「生命の未来」を体感するアートインスタレーション「Zero Gravity Art」』にも協賛しています。

※1 「シグネチャーパビリオン」

テーマ事業は大阪・関西万博を象徴・代表する事業であり、8名の専門家がつくるパビリオンは、テーマをそれぞれの哲学から語り深める「署名作品」でもあることから、「シグネチャーパビリオン」と名付けられています。8名のテーマ事業プロデューサーが大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を、それぞれ固有の観点から解釈、展開し、未来に生きる人々に繋ぎ渡すパビリオンを建設します。「シグネチャーパビリオン」は、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会の商標です。

※2 「いのちめぐる冒険」は、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会の商標です。

※3 「Better Co-Being」は、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会の商標です。

※4 「EXPO 2025 バーチャル万博～空飛ぶ夢洲～」

「EXPO 2025 バーチャル万博～空飛ぶ夢洲～」は、大阪・関西万博のバーチャル会場です。来場者は、アバターとして大阪・関西万博の世界に入り込み、実際の建物が再現されたパビリオン・イベント施設を巡りながら、各出展者が展開するバーチャルならではの展示やイベントを楽しむことができます。世界中の人々と一緒に旅しながら、いのち輝く未来社会を考える、半年間にご期待ください。

・2025年4月3日リリース予定

・スマートフォン/タブレット(iOS/Android)・PC(Windows/Mac)・VRゴーグル(MetaQuest2,3)に対応予定

・アプリダウンロードは以下 URL より実施頂けます。

<https://www.expo2025.or.jp/future-index/virtual/virtual-site/#download>

※5 「いのち球」は、株式会社 Vector Vision、河森正治プロデューサーの商標です。

※6 SBT: Soul Bound Token の略称。譲渡不可な NFT

※7 「ミyakミyakリワードプログラム」

デジタルウォレットのリワードプログラムでは、利用者が万博関連サービスの利用、イベント参加等の条件を満たすことで経験値(exp)を獲得し、万博会場内の特別な特典を獲得することができます。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のもので、その後予告なしに変更されることがあります。

以 上